



只野 裕一 准教授が日本計算力学連合より JACM Fellows Award を受賞

【概要】

機械工学部門の只野 裕一 准教授が、日本計算力学連合（Japan Association for Computational Mechanics; JACM）より JACM Fellows Award を受賞しました。本受賞は、只野准教授の、計算力学分野における研究業績と国際貢献が評価されたものです。

【本文】

機械工学部門の只野 裕一 准教授が、日本計算力学連合（Japan Association for Computational Mechanics; JACM）より JACM Fellows Award を受賞しました。この賞は、計算力学分野で顕著な業績を上げ、JACM へのサポート、および国際計算力学連合（International Association for Computational Mechanics; IACM）の関連国際学会に貢献した研究者に対して、毎年5名以内を選定して贈呈されるものです。

只野准教授は、これまでに取り組んできた、マルチスケール材料モデリングとその実用問題への応用に関する研究業績に加え、2020年12月に開催予定の国際会議 3rd International Conference on Computational Engineering and Science for Safety and Environmental Problems (COMPSAFE2020) において Secretary General として講演会運営に貢献するなど、当該分野における多くの国際貢献をされており、これらが高く評価され受賞に至ったものです。

2020年7月22日にフランス・パリで開催予定であった JACM 総会にて表彰式が行われる予定でしたが、あいにく新型コロナウイルス感染症の影響で現地での総会は中止となり、同日にオンラインで開催された web 総会において、授賞式が執り行われました。

只野准教授は、2015年に、優れた若手研究者に贈られる The 2015 JACM Award for Young Investigators in Computational Mechanics も受賞しており、これに続く快挙となります。

